

あなたという私

—アートとパーソナルな関係を築くために—
アーティスト4人からの提案

【会期】2013年3月10日 | 日 | -3月31日 | 日 |

【時間】11:00-19:00 (月曜休廊)

【入場】無料

【会場】〒135-0042 東京都江東区木場 3-18-17 2F

gallery COEXIST-TOKYO



オープニング・レセプション3月10日 | 日 | 17:00-19:00/ トーク・イベント3月20日 | 水・祝 |

人の歩幅も歩く速度も同じではない。
同じ場所においても見ている風景は同じではない。
あなたはどこでどんな景色を見ているのだろうか。

今展は、個人的な体験が埋め込まれた誰かの「記憶」を共通キーワードとして持つ4名の女性アーティスト、立原真理子、町野三佐紀、武藤亜希子、渡辺望によるコミュニケーションの原風景の提示と反問である。

4名のアーティストたちは自らの内を感じ、外を見渡し、その間にある距離を測りながら、様々な角度で世界との境界線や関わりについてアプローチしていく。横溢したイメージの中から、過去のなくし物の中から、網戸の格子から、そして夜空の星の中から「私」と「あなた」は繋がっているのだろうか?と問いかける。

表現するメディアは様々だが、どれも展示空間によって作品形態が変化するサイト・スペシフィックな要素を持ち、鑑賞者の視点が入ることで作品を作品足らしめる。

自らの生い立ちや住環境が制作の源となっている町野、立原、渡辺。

町野は 表現媒体として映像を選び、海辺で育った者が持つ海への情景を無数のさざなみになぞる。鑑賞者の姿が映像と重なることで、身体の可塑性を意識させる。

立原は、内と外を隔てると同時に両者を行き来する機能を持つ網戸に刺繍を施すことで、内と外の繋がりを強く、さらに曖昧にする。刺繍された真っ赤な彼岸の景色が自分の立ち位置の脆弱さを浮き彫りにする。

渡辺は、言葉という神秘的な魔力を使って、見えなくても存在するものを導き出そうとしている。「i」の「・」だけを現出させた1冊の本は、澄み渡る夜空の星々であり、強いメッセージ性を持つ。

前者の3人と異なり全くの他人の記憶を借りて作品に昇華する武藤は、フェルト生地を使用する。自由に切り取られた生地は形を変える一方で痕跡を残していく。体験型である武藤の作品は手を動かすことで失った物を再出現させる。当事者以外の誰にもそれを出現させることはできない。

会期中は4名のアーティストによるトークイベントと武藤によるワークショップが開かれる。

(テキスト：馬淵富美子)



「岸と戸」 2012 網戸・刺繍糸・針金・フローラテープ サイズ可変

■立原 真理子 (たちはら・まりこ)

■略歴

- 1982 茨城県生まれ
2006 女子美術大学芸術学部洋画専攻卒業
2008 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了

■展示 (抜粋)

- 2007 個展「うたた寝のそと」フタバ画廊 (東京)
alacarte 船橋市民ギャラリー (千葉) 以降 09, 11 隔年で参加
2008 POST 横浜・創造界隈 ZAIM 別館 (神奈川)
In my room2 FUKUGANGALLERY (大阪)
大森悟・立原真理子二人展 武家屋敷旧内山家 (福井)
生まれつつある現在 2008 文房堂ギャラリー (東京)
2010 アーツチャレンジ 2010 入選「コタツツジの暮らし」
Non-site Memory 市田邸 (東京)
2012 個展「岸と戸」 巷房 2・階段下 (東京)
常総市まちなか展覧会 常総市内・黒倉庫 (茨城)
祭りか? 山か? 取手市内・長屋 (茨城)

■制作コンセプト

時間軸で変化する風景、または自分の内側に映り込む外の風景や場所と記憶をモチーフとして風景と自我の境目を曖昧に、時に明瞭に捉えるような表現を試みる。そこから「内と外」「此岸と彼岸」「個と世界」の境目を解放し、新たな風景を掲示する。

駅からの帰り道に小さな川がある。その川を境に、地名や自治会が変わる。目の前を流れるこの川はとても長い。はじまりとおわりでは、だいぶ景色が異なるに違いない。

川の風景が、いつまでも家の中についてくる。
小さな庭をこえて、網戸をこえて、その風景は私の中に映りこむ。

■町野 三佐紀 (まちの・みさき)

■略歴

- 1977 富山県生まれ
2002 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻卒業
2009 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程 (油画) 修了

■展示 (抜粋)

- 2007 「漂う」 SAN-AI GALLERY+contemporary art (東京)
「波打ち際」 gallery OPEN DOOR (東京)
2010 「柔らかい鏡」 switch point (東京)
「mirrors in motion ~視覚の現在~」 企画ギャラリー 明るい部屋 (東京)
2011 「常総市まちなか展覧会 2011」 (茨城県常総市)
2012 yadokari TOKYO 「青白く、柔らかな」 SATOSHI KOYAMA GALLERY (東京)
yadokari TOKYO 「" 光察 /studies of light" 町野三佐紀 × 土田祐介」
西麻布 八星ビル (東京)
「" COCKTAIL" 門田光雅 × 町野三佐紀」 Sweet Emotion (東京)
「さざめき / 夜陰」 gallery COEXIST-TOKYO (東京)
Yadokari TOKYO 「かすみ荘」 グローリアビル (東京)
「常総市まちなか展覧会 2012」 (茨城県常総市)



「光の沼」 2012 ビデオインスタレーション、モノクロ DVD 5min.(loop) / 「常総市まちなか展覧会 2012」 (茨城県常総市)

■制作コンセプト

私たちの身体は、皮膚よりも外側にも伸びている。感覚は身体だけにとどまらない。衣服や靴のまたその先、直接身体に触れていない視線の先にまで伸びている。

身体を超えた感覚。その位置と範囲を確かめるように凝視する。不自然に膨張した領域は、周囲を取り囲み漂っている。

感覚が先へ伸びれば伸びるほど、身体は実体から遠のき、透明なものになっていくのではないだろうか。

■お問い合わせ■

gallery COEXIST-TOKYO 〒135-0042 東京都江東区木場3-18-17 2F
TEL 03-5809-9949 MAIL info@coexist-tokyo.com
URL <http://www.coexist-tokyo.com> 担当: 島津



左上:「Crane or Pheasant」2012 合成皮革、布、その他 800×250mm
 左下:「My bowl」2012 布、その他 150×150×100mm
 右上:「Cover」2012 布 1820×1330mm
 右
 下:「Tiles」2012 布、その他 215×215×60mm

■制作コンセプト

「なくしもの屋」

今までに集めた、他者の記憶の中のたくさんの「なくしもの」を、シルエットとして浮かび上がらせた展示空間の制作。

展示期間中に、観覧者はそのスペースで、他者の「なくしもの」を辿りながら、自己の記憶の中に埋もれている「なくしもの」を探して形にしていくことができる。

会期中もワークショップを開催し、なくしたものとに関する「言葉（もしくは会話）」「場所」「もの」「匂い」「色」「音」などをキーワードに、

今はない「なくしたもの／失われたもの／できごと」等を探し、形にしていく。

「なくしもの」に関する人々の記憶の断片を、いくつもの物語のように浮かび上がらせていき、展示会場も少しずつ変化していく。

■武藤 亜希子 (むとう・あきこ)

■略歴

- 1975 千葉県生まれ
- 2000 東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業
- 2002 東京芸術大学大学院美術研究科修士課程油画修了
- 2006 東京芸術大学大学院美術研究科博士後期課程油画専攻領域満期修了

■展示 (抜粋)

- 2009 越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭 2009 キナーレ (新潟)
「その部屋の奥の行き止まりの入口」 Art Center Ongoing (吉祥寺)
- 2010 DANDANS at No Man's Land 旧フランス大使館 別館 (東京)
- 2011 Dandans-The Lounge 銀座ブルガリタワー 8階 (東京)
Shibuya1000(東急渋谷駅 / 東京)
nowhere —ここではないどこかへ Bunkamura Gallery (東京)
Dandans-Hierher Dorthin —ここから、あちらから— ドイツ文化センター (東京)
- 2012 Dandans 5人展 東京アメリカンクラブ フレデリックハリスギャラリー (東京)
越後妻有アートトリエンナーレ 大地の芸術祭 2012 十日町商店街 (新潟)



「voice of the stars」インスタレーション (20音シート式オルガニート、シート、ライトボックス)
 ヤドカリーキョー主催企画展 04「アオヤマクライム」ファミリー青山 (東京)

■渡辺 望 (わたなべ・のぞみ)

■略歴

- 1984 神奈川県生まれ
- 2007 女子美術大学芸術学部絵画学科洋画専攻 卒業
- 2009 多摩美術大学大学院 美術研究科 博士前期課程 絵画専攻 油画研究領域 修了

■展示 (抜粋)

- 2009 「日本コラージュ 2009」 galleryK(東京)
「虹の在り処」 FUTABA gallery(東京)
「Breath of light」 ANOTHER FUNCTION(東京)
- 2010 「ワンダーシード 2010」 トーキョーワンダーサイト渋谷 (東京)
「trill」 Nroom artspace(東京)
- 2011 「KANAGAWA TAMABI」 横浜市民ギャラリー (神奈川)
所沢ピエンナーレ「引込線」 2011 旧所沢市立第 2 学校給食センター (埼玉)
- 2012 「怪作展」 ギャラリー新九郎 (神奈川)
Yadokari TOKYO「アオヤマクライム」 ファミリー青山 (東京)
Yadokari TOKYO「かすみ荘」 グローリアビル (東京)
「Ground Channel」 岡本記念コードカラー美術館 (千葉)

■制作コンセプト

夜空の深い闇には無数の光が瞬いている。

たとえ人間の目には見えなくても、遠く離れた星の瞬きや、あるいはすでに亡くなった星の輝きがその闇に含まれている。

盆地の中腹に生まれ育った私は、幼い頃より日々、頭上にひろがる夜空の星や向かいに高くそびえ立つ山並、

眼下にひろがる家々の明かりといった風景を眺め生活をしてきました。

そういった住環境は、私と対象との間にあるはっきりと浮かんだ空間や、目線の先にひろがる自分の目では見ることが叶わない世界について考えるきっかけになりました。

私は日常で目にする何気ない物や出来事、景色の中にも、人間の目では見ることのできない空間のひろがりを感じます。

それは他者の言葉の内であったり、目の前の壁の中や頭上から照らされる光の中にあるのかもしれませんが。

そういった身の回りの事象を遠くを臨む視点で眺めることによって、人を取り巻く世界の「奥行き」を表現したいと考えています。

■お問い合わせ

gallery COEXIST-TOKYO 〒135-0042 東京都江東区木場3-18-17 2F

TEL 03-5809-9949 MAIL info@coexist-tokyo.com

URL http://www.coexist-tokyo.com 担当:島津